

医療法人 貴和会 防府病院

基本理念 以和為貴（貴和の精神で医療と福祉を行い広く社会に貢献する）

基本方針 わたしたちは、広く社会を含めたチーム医療を行い開かれた医療・福祉サービスをめざします

- ・患者さんの人権を尊重した精神科医療を行います。
- ・地域と連携して疾病の予防、治療、社会復帰のお手伝いをいたします。
- ・精神障害に対する地域への理解・普及啓蒙活動を行います。

## 防災の日になんで



## 非常食の提供について



防災の日に併せて、9/1の昼食は非常時を想定した食事の提供を行いました。この取り組みは今回で5回目となります。

最初に病棟担当者が備蓄品倉庫に集結し、栄養士より説明と注意事項を受けます。非常時を想定しておりますのでエレベーターは使用出来ません。倉庫から病棟までカートではなくコンテナに詰めての人海戦術です。看護職員は協力しあい汗をかきながら階段を使って運びます。また、病棟配膳室では調理員ではなく看護職員の手による盛り付け等が行われます。

これらの訓練は、災害（北の脅威も含む）だけでなく食中毒による給食の停止事態も考慮されております。担当の職員は、いつも以上に真剣に取り組んでいました。提供する食材も訓練の反省から手軽に食事出来るものに変わりつつあります。年1回患者さんには迷惑をおかけしますが、今後もこの訓練を通じて職員ひとりひとりが非常時の意識を高める機会として継続する予定です。

## 机上訓練について



当院では、年7回、各種消防訓練を実施して参りました。消火器・散水栓の消火訓練と避難訓練、そして通報も含めた総合訓練です。年1回の総合訓練に備えての各フロア単位の訓練を行って来ましたが、各職員が十分な初期消火、避難誘導が出来るかは疑問でした。

そこで、実際に訓練するのではなく机上で各職員がイメージする訓練を新たに加えました。フロア図面が表示された大きなホワイトボード上に消防設備・患者さんの状態・職員数を書き込み、時間帯を設定し、出火場所を設定したうえで消防計画に準じて各職員がどう動くかを机上で訓練してもらいます。各職員から様々な意見も出され充実した内容になって来ました。

防火管理者が一方的に教育するよりも実際に勤務する職員がより危機感を持って非常時に備えることが重要と考えます。



# きわ工房夏祭り



8月4日(金)に精神科作業療法で毎年恒例の1・2病棟合同の夏祭りを開催しました。

今年はかき氷の他に射的や金魚すくいゲーム・盆踊りを行いました。童心に返って金魚すくいや射的に熱中する人、冷たいかき氷に目を輝かせる人等たくさん笑顔が溢れにぎやかな会となりました。最後は恒例の炭坑節をみんなで踊り、楽しい夏の思い出を作ることができました。

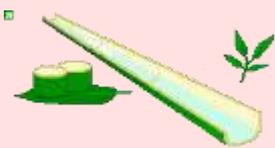


童心に返って金魚すくいや射的を楽しみました。

## すずらん会でそうめん流し

暑い日が続いているなか、きわ工房(精神科作業療法)のプログラム内でそうめん流しを行いました。すずらん会は女性のみで構成されるメンバーで活動を行っています。そうめん流しを行うにあたってネギやハムを切ることからそうめんを茹でるまで参加者がそれぞれ役割を分担して準備を行いました。

いざ、そうめん流しが始まると参加者は今か今かと待ち構え、一生懸命箸ですくい上げていました。今年も暑い夏が続いていますが、そんな暑さも吹き飛ばすような賑やかな会になりました。



みんなでおいしく  
いただきました



## 追悼会

当院では、この一年間入院中に亡くなられた方のご冥福をお祈りするため、毎年8月のお盆の時期に追悼会(ついで)を開催しております。この一年にお亡くなりになられた入院患者さんのご家族をお迎えして、ご冥福をお祈りいたしました。



## 編集後記

処暑を迎え、ようやく涼しい風が吹いて秋の匂いがしてまいりました。8月は夏祭りやそうめん流しなどの涼しさを感じられるイベントも多く大盛況でした。すごしやすい季節となりましたが季節の変わり目は風邪を引きやすいので、ご自愛ください。



銀杏も実がなり  
始めました。